

第3期健康ぞおう21プラン 第1期蔵王町自死対策計画 第2期蔵王町食育推進計画

ダイジェスト版



平成30年3月

蔵王町

1 計画策定の趣旨

蔵王町の健康づくりと自死問題、食育を総合的かつ効率的に推進していくために、3つの計画を一体的に策定しました。町民の皆さまが、元気で自分が望む暮らしができるよう行政や関係機関、民間団体等が連携して、健康づくり等に取り組んでいきます。

2 計画の期間

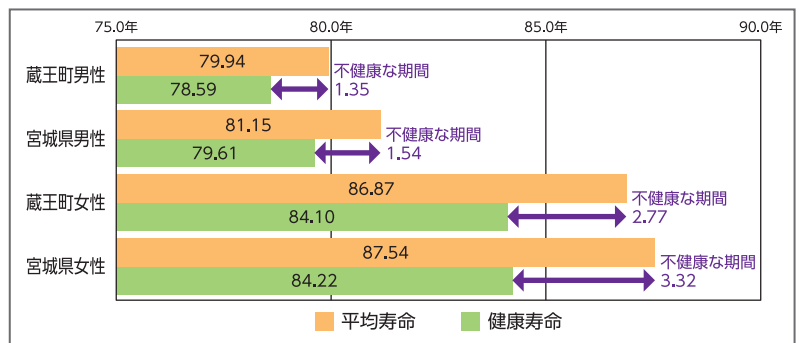
計画期間は平成30年度から平成39年度の10年間、自死対策計画は平成30年度から平成34年度までの5年間としています。

計画名	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度
第3期健康ぞおう21プラン	[計画期間: 平成30年度 - 平成39年度]									
第2期蔵王町食育推進計画	[計画期間: 平成30年度 - 平成39年度]									
蔵王町自死対策計画	第1期計画					第2期計画				

3 健康に関する現状と課題

1. 平均寿命と健康寿命

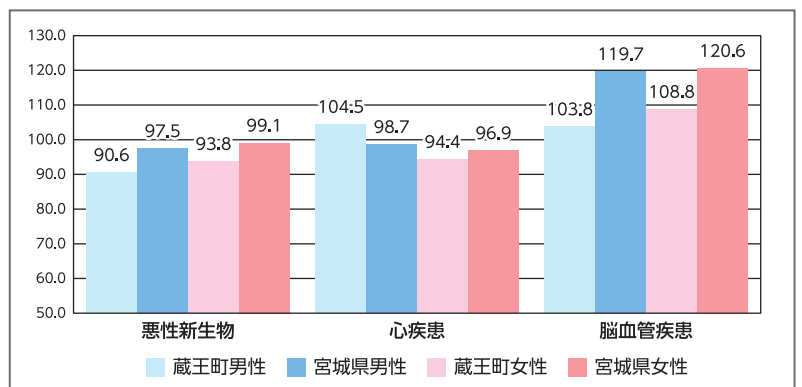
健康寿命とは、平均寿命のうち健康で活動的に暮らせる期間のことをいい、本町の平均寿命は、男性79.94歳、女性86.87歳、健康寿命は、男性78.59歳、女性84.10歳です。県と比較すると、男性、女性ともに低い状況となっています。



2. 標準化死亡比

標準化死亡比とは、人口10万対の死亡数を計算により求められる値をいい、平均を100としているので、標準化死亡比が100以上の場合には「平均より死亡率が多い」と判断されます。

本町は「脳血管疾患」の死亡率が高く、男性は「心疾患」の死亡率も高いことがわかりました。

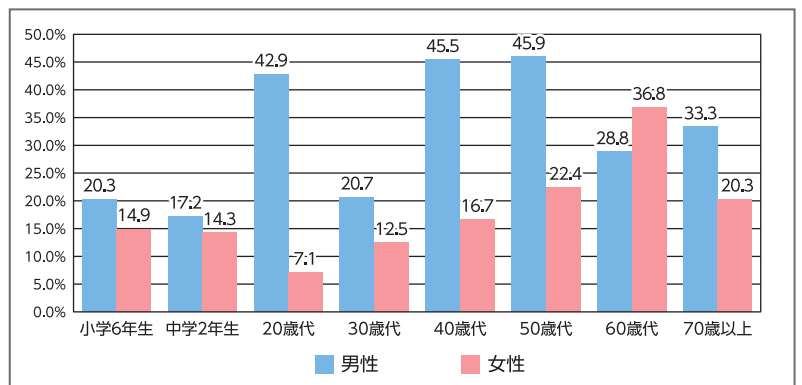


3. 肥満の状況

(小中学生は肥満度20%以上、成人はBMI25以上)

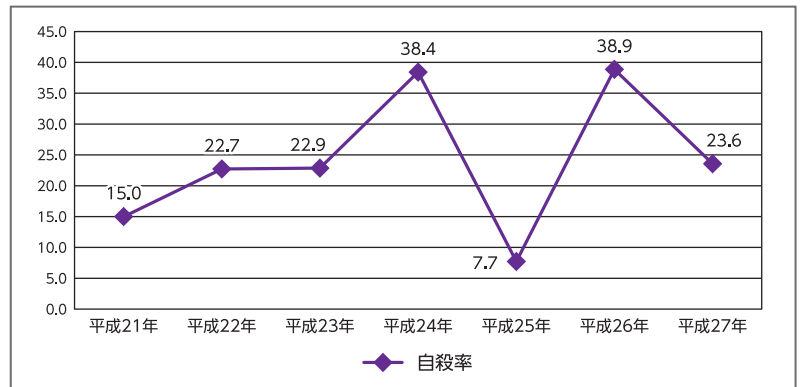
本町は小中学生の肥満の割合が高く、成人においても、肥満傾向が高い状況にあります。

※BMIの求め方
体重kg÷(身長m)²



4. 自殺率(人口10万人対)

自殺率(人口10万人対)の推移をみると、年によってばらつきはありますが、平成27年は23.6となっており、国の値18.9と比較高い値となっています。



4 第3期健康ざおう21プランで目指しているもの

(1) 健康寿命の延伸

(2) 健康格差の縮小

本町は、他市町と比較して平均寿命・健康寿命が低いことから、要因を分析し、健康格差の縮小に取り組んでいきます。

(3) 一次予防の重視

生活習慣病の一次予防を重視した取組や健康診査等による発症予防と重症化予防に努めていきます。

(4) ソーシャルキャピタルの構築

近隣住民との普段からのつきあいや地区活動等による協調行動が、信頼関係を築き、健康づくりには重要であるといった考え方にに基づき、地域活動を重視していきます。

(5) こころの健康づくりの強化

5 第3期健康ざおう21プラン等の8つの重点項目と取組内容

1. 望ましい食生活・食習慣(アルコール含む)の実現

- (1) 食に関する知識の普及と関心の向上 (2) 食習慣を改善するための支援

2. 運動・身体活動の増加

- (1) 運動に関する知識の普及 (2) 運動に取り組みやすい環境整備

3. こころの健康づくり(第1期蔵王町自死対策計画)

基本施策

- (1) こころの健康づくりの推進と相談支援体制の充実 (4) 住民への啓発・周知
(2) 地域ネットワークの強化 (5) 生きることの促進要因への支援
(3) 自死対策を支える人材の育成 (6) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

重点施策：勤労世代の失業者・無職者・生活困窮者対策

4. タバコ対策

- (1) 喫煙に関する知識の普及と啓発 (2) 禁煙希望者への支援 (3) 受動喫煙防止への取組強化

5. 歯科保健対策

- (1) 歯科に関する知識の普及と啓発 (2) 受診しやすい健診(検診)等の体制整備

6. 生活習慣病の予防

- (1) 健康に関する知識の普及と関心の向上 (3) 生活改善が必要な方への支援
(2) 受診勧奨の徹底と受診しやすい健診体制の整備

7. がん予防

- (1) がん予防に関する知識の普及と啓発 (2) 受診勧奨の徹底と受診しやすい検診体制の整備

8. 地域活動の充実

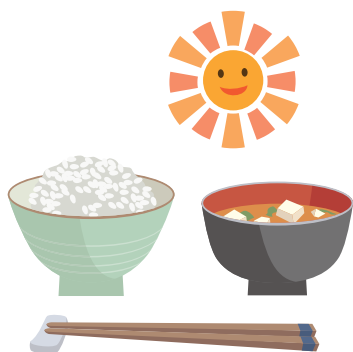
- (1) 地域活動への支援 (2) 関係機関との連携体制の強化

6 第3期健康さおう21プラン(第1期蔵王町自死対策計画)の目標一覧

指 標	対 象 者	現状値	目標値
健康寿命の延伸	男 性	78.59歳	現状値よりも 延伸
	女 性	84.10歳	

指 標	対 象 者	現状値	目標値			
望ましい食生活・食習慣(アルコール含む)の実現	小学6年生	88.6%	100.0%			
	毎日朝ごはんを食べる者の増加	中学2年生	76.1%	100.0%		
		成 人	83.6%	92.0%		
	適塩量を知っている者の増加	成 人	40.0%	44.0%		
	1日に必要な野菜の摂取量を知っている者の増加	成 人	42.7%	47.0%		
	適正飲酒量を知っている者の増加	成 人	17.4%	19.0%		
	飲酒を経験したことがある 小中学生をなくす	小学生	5.6%	0.0%		
		中学生	12.6%	0.0%		
	肥満者の割合の減少	小学6年男子	20.3%	17.8%		
		小学6年女子	14.9%	10.4%		
		中学2年男子	17.2%	13.0%		
		中学2年女子	14.3%	11.2%		
		成人男性	32.3%	29.0%		
		成人女性	25.1%	23.0%		
	活動の増加 運動・身体	運動習慣のある者の増加	町国保加入者	38.3%	45.0%	
		ロコモティブシンドロームの認知率の増加	成 人	34.4%	45.0%	
(第1期蔵王町自死対策計画) みんなの健康へんこ	自殺率の減少	町 民	23.6 (人口10万人対)	減少する		
	指 標	対 象 者	現状値	目標値		
				5年後	10年後	
	こころの相談を知っている者の増加	成 人	46.1%	50.0%	55.0%	
	相談できる相手がいると 答える者の増加	小学生	82.0%	90.0%	100.0%	
		中学生	69.7%	90.0%	100.0%	
		成 人	71.6%	74.0%	78.0%	
	ゲートキーパー養成講座 受講者の増加	町民・関係者	延315人	延520人	延800人	
町職員		-	延100人	延200人		
SOSの出し方に関する教育 授業で一度は実施した学校数	町内小中学校 (全8校)	-	3校	8校		

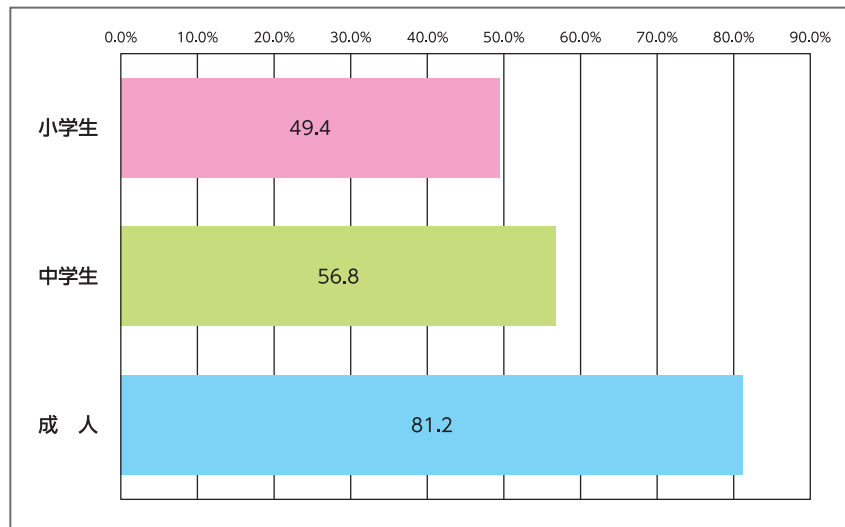
指 標		対 象 者	現 状 値	目 標 値
タバコ対策	喫煙率の減少	成人男性	34.1%	30.0%
		成人女性	11.7%	10.0%
	喫煙者で家庭内分煙している者の増加	成 人	76.1%	84.0%
	喫煙を経験したことがある 小中学生をなくす	小学生	0.0%	0.0%
		中学生	1.4%	0.0%
	妊婦の喫煙をなくす	妊 婦	0.0%	0.0%
COPDの認知率の増加	成 人	13.9%	17.0%	
歯科保健対策	DMF指数の減少	3歳6か月児	1.55本	1.00本
		小学6年生	1.41本	1.00本
	成人歯周病検診受診率の増加	成 人	7.9%	15.0%
	自分の歯の本数の増加	70歳	19.9本	20本以上
	8020運動の認知度の向上	成 人	34.8%	45.0%
生活習慣病の予防	特定健康診査受診率の増加	町国保加入者	43.2%	60.0%
	特定保健指導の実施率の増加	町国保加入者	13.0%	45.0%
	メタボリックシンドローム該当率の減少	町国保加入者	21.3%	17.0%
	メタボリックシンドローム予備群該当率の減少	町国保加入者	10.7%	8.5%
がん予防	肺がん検診の受診率の増加	40～69歳	38.2%	50.0%
	大腸がん検診の受診率の増加	40～69歳	29.0%	50.0%
	乳がん検診の受診率の増加	40～69歳女性	49.5%	70.0%
	子宮がん検診の受診率の増加	20～69歳女性	25.6%	50.0%
地域活動の充実	町や地区の行事に参加する者の増加	成人男性	60.6%	66.0%
		成人女性	56.8%	62.0%
	地域活動をしている者の増加	成人男性	38.2%	42.0%
		成人女性	50.4%	55.0%



7 食育の現状と課題

1. 「地産地消」の認知状況

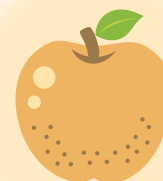
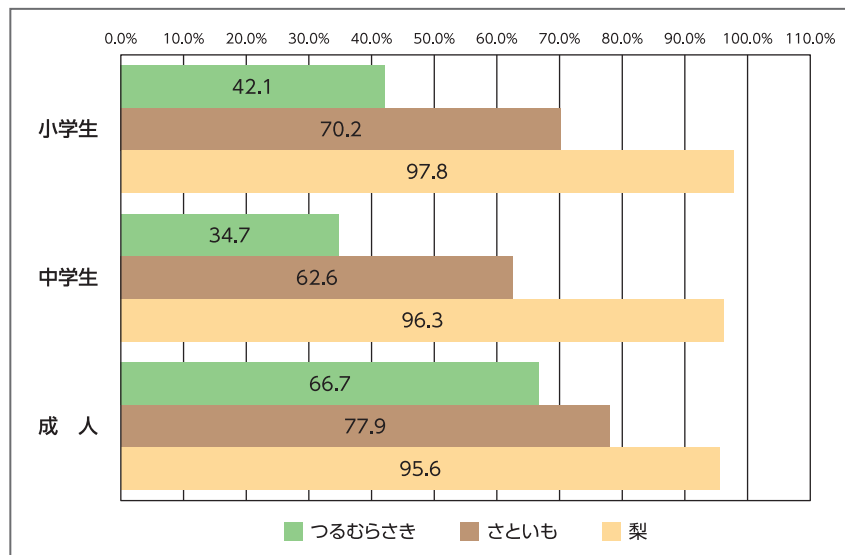
「地産地消」という言葉の認知状況をみると、小学生は49.4%、中学生は56.8%、成人では81.2%となっています。今後は、学校給食等に地場産物を更に活用し、地域の産業への理解を深めます。



2. 特産品の認知状況

特産品の認知状況をみると、梨はほとんどの人が知っており、さといもでは6~8割弱、つるむらさきでは3~7割弱となっています。今後は地域で作られた生産物を身近に感じ、地域の産業への理解を深めます。

※特産物は、「みやぎの園芸特産データブック」、「農林業センサス」の主要農産物より抽出しています。



8 第2期蔵王町食育推進計画の4つの重点項目と取組内容

1. 食を通して健康な身体をつくる食育

- (1) はやね・はやおき・あさごはん推奨運動の展開
- (2) 健康ぞおう21プランの推進
- (3) 乳幼児期・学童期・思春期における歯科保健事業の推進

2. 豊かな心を育む食育

- (1) 家族や友人と一緒に食事をする
- (2) 「30日は蔵王ごはん、家族団らんの日」の推進

3. 地産地消の推進と食文化の伝承

- (1) 学校給食をはじめとした給食施設での地場産品の使用率向上
- (2) 体験学習を通じた食育の推進
- (3) 安全安心な食材の供給体制の確保
- (4) 給食施設における郷土料理・行事食の提供

4. 多様な機関との連携・協力による食育推進

- (1) 広報・ホームページによる食育に関する情報の発信
- (2) 各組織や団体との連携強化
- (3) 食育コーディネーターや食育推進ボランティアの活用



9 第2期蔵王町食育推進計画の目標一覧

指 標		対 象 者	現 状 値	目 標 値
食を通して健康な身体をつくる食育	朝食を食べている者の増加	小学5年生	95.5%	100.0%
		中学2年生	76.1%	100.0%
		成 人	83.6%	100.0%
	平日の午後10時より前に就寝する児童の増加	小学生	39.3%	50.0%以上
	平日の午後11時より前に就寝する生徒の増加	中学生	42.1%	45.0%以上
	甘い飲み物の摂取割合の減少 (毎日飲む・2～3日に1回)	小学生	65.1%	50.0%以下
		中学生	66.0%	50.0%以下
	間食(おやつや夜食等)の摂取割合の減少 (毎日食べる・2～3日に1回)	小学生	77.0%	50.0%以下
		中学生	62.6%	50.0%以下

指 標		対 象 者	現 状 値	目 標 値
豊かな心を育む食育	夕食を家族そろって食べる割合の増加	幼 児	100.0%	100.0%
		小学生	93.9%	
		中学生	85.1%	
	30日は蔵王ごはんの日を 実践している人の割合の増加	小学生	39.3%	80.0%
		中学生	38.0%	
		成 人	11.9%	
地産地消の推進と食文化の伝承	学校給食における地場産物(野菜・果物) の品目数利用割合の増加	小中学校	15.0%	35.0%
	農業体験学習を取り組む 小中学校の割合の増加	小学校	5校/5校	5校/5校
		中学校	2校/3校	3校/3校
	食品表示を確認している割合の増加	中学生	67.4%	75.0%
	蔵王町の特産品を知っている 割合の増加(梨)	小学生	97.8%	100.0%
		中学生	96.3%	
		成 人	95.6%	
	蔵王町の特産品を知っている 割合の増加(里芋)	小学生	70.2%	100.0%
		中学生	62.6%	
		成 人	77.9%	
多様な機関との連携・ 協力による食育推進	広報・ホームページによる食育に 関する情報発信の増加	町 民	年4回	年6回
	食育推進ネットワーク協議会の開催	ネットワーク委員	2回	2回
	学校・地域等における健康教室での食育 推進ボランティアを活用する回数の増加	町 民	年7回	年10回

10 計画の推進体制

各計画に掲げる目標を達成するために、各種団体等の連携体制を強化しながら関係機関で構成される「蔵王町健康づくり推進協議会」において計画の進行管理に努めていきます。



第3期健康ざおう21プラン 第1期蔵王町自死対策計画 第2期蔵王町食育推進計画 【概要版】

発行：蔵王町 〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10
TEL 0224-33-2003(保健福祉課)